つくば市令和5年(2023年)8月定例記者会見 資料一覧

令和5年(2023年)8月8日(火)つくば市 市長公室 広報戦略課

- 1 つくば市高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業(後期分)について
- 2 「つくばR8シン・アイデアソン」実証アイデアの決定について
- 3 第5回筑波山地域ジオパーク認定商品募集について
- 4 シェイクアウト訓練2023の実施について
- 5 つくば市イベント情報(2023年8月、9月)等

世界のあしたが見えるまち。

福祉部 高齢福祉課

つくば市高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業(後期分)につ 事案名 いて 趣旨・目的 つくば市高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業に関わる交通 安全講習会の後期受付を9月から行います。この事業は、高齢者の自 動車に代わる移動手段の確保、社会参加の促進、心身の健康増進、 介護予防を推進すること及び市内の自転車販売店を支援することを 目的として、電動アシスト自転車及び自転車用へルメットを購入す る際の費用の一部を補助するものです。補助を申し込むにあたり、 事前に市の主催する交通安全の受講が必要です。前期の講習会は5 月から7月までに5日間、計10回行いましたが、全ての回で定員で ある20人の申し込みをいただいています。 日時 後期分の交通安全講習会の日程及び申し込み開始日は広報つくば 9月号及び8月末頃にホームページでお知らせします。 3 内容 新品の電動アシスト自転車の本体購入費用の4分の3を補助しま す。補助額の上限は、2輪車が50,000円、3輪車・4輪車が 120,000円です。令和4年度から令和5年度に運転免許証を自主返 納した方には、2輪車は15,000円分、3輪車・4輪車は30,000円分 の上乗せ補助があります。また、電動アシスト自転車購入費用の補 助を受けた方で、新品の自転車用ヘルメットを同時購入された方に 本体購入費用2.000円を上限に補助します。 補助を受けるためには、市が実施する交通安全講習の受講が必要 です。後期分の交通安全講習会は9月から11月までに9日間、各日 とも午前と午後の2回開催を予定しています。 また、電動アシスト自転車は、市内のTSマークを取り扱う自転車 販売店で購入し、TSマーク付帯保険に加入していただく必要があり ます。防犯登録も必要です。2輪車、3輪車、4輪車ともに国家公 安委員会の型式認定を取得したものであるほか、2輪車はBAA安 全・環境基準適合車であることが必要です。 自転車用ヘルメットは市内の販売店で購入し、SGマーク、JC

Fマーク等の指定する安全基準を満たしたものであることが必要で

	す。 予算に達するか、交通安全講習会の全日程で定員になり次第終了 します。
4 対象者等	令和5年度内に満70歳以上となる市民(昭和29年3月31日以前生まれの市民)の方で、市が実施する交通安全講習を受講した方です。また、補助は1世帯につき1人で一回のみです。
5 主催等	交通安全講習はパナソニックサイクルテック(株)様にご協力をいただき実施します。
資料等	チラシ

都市計画部 周辺市街地振興課

	都市計画部 周辺市街地振興課
事案名	「つくばR8シン・アイデアソン」実証アイデアの決定について
1 趣旨•目的	「つくばR8シン・アイデアソン」は、新たな地域づくりを担う人材の発掘を目的に、つくば市周辺市街地(R8)を元気にしたい人たちが集まり、チームとなって6月11日から2月末までの期間中に地域づくりの企画から実証までを行う、実践型プログラムです。7月23日に、参加者が約1か月で練り上げたアイデアのプレゼンテーションを行い、これからR8で実証していく3つのアイデアを決定しました。
2 内容	シン・アイデアソンでは、参加者が「イベントづくり」「商品開発」「誘客促進」の3つのテーマ毎にチームに分かれアイデアを磨いてきました。 7月23日のプレゼンテーションでは、3チームがアイデアを発表し、有識者からの審査・アドバイスを受け、実証の段階に進むこととなりました。3チームには実証費として上限40万円が支給され、今後は、2月末までアイデアの実証に取り組みます。
	【チームと事業計画概要】 ▶イベントチーム(チーム名:つくマルジョン) R8の各地域で行われている取組を、見て・聞いて・体験できるイベントをつくば駅前で行い、地域外への魅力の発信、地域内外の交流づくりを目指す。 ▶商品開発チーム(チーム名: "を結び"商品開発チーム) ウェブ上で、旅行情報誌風にR8の情報を発信するページを制作する。また、市内外の若年層を中心として幅広い世代を対象に、R8のキャラクターを公募する。 ▶誘客促進チーム(チーム名:R8 縁JOY club) R8各地域の飲食店情報やイベント、特産品などの情報が集まるプラットフォームをWEBメディアやSNSを通じてつくる。LINEのオープンチャットを活用し、双方向コミュニケーションの場の提供も行う。

3	関係者	【ファシリテーター】
		堀下 恭平 (株式会社しびっくぱわー 代表取締役社長)
		【有識者・審査員】
		西野 由希子(茨城大学人文社会学部教授)
		蓮見 孝(筑波大学名誉教授)
		堀田 誉(株式会社Co-Lab共同代表)
		 江本 珠理(株式会社グランドレベルコミュニティマネージャー)
4	参加者	周辺市街地での地域づくり活動に関心のある38名からご応募いた
		だきました(募集30名程度)。
5	特記事項	 各チームは8月から2月末まで、それぞれのアイデアを実証し、
		その成果を年度末に開催する「つくばR8シンポジウム」にて発表
		します。
	20호 네시 44~	・つくばR8シン・アイデアソンチラシ
	資料等	・冬チームの宝証アイデア概要

・各チームの実証アイデア概要

経済部 ジオパーク室

			ジオバーク室
	事 案 名	第5回筑波山地域ジオパーク認定商品募集について	
1	趣旨・目的	筑波山地域ジオパーク推進協議会では、ジオパーク	7を通じた地域
		振興を目的とし、筑波山地域ジオパークをイメージで	できる食料品加
		工品(料理を含む)を募集しています。	
		筑波山地域ジオパークの特徴的な地形や地質等と <i>の</i>)関連が語れる
		"ストーリー"性のある商品であることが条件です。	
		審査により認定された商品は、認定商品ロゴマーク	の使用が認め
		られるとともに、協議会ホームページやパンフレット	- などで「筑波
		 山地域ジオブランド認定商品」としてご紹介させてレ	いただきます。
		皆様のご応募をお待ちしています。	
2	申請期間	2023年7月18日(火)から8月31日(木)まで	
3	申請資格およ	申請資格および必須条件等の詳細については筑波山	」地域ジオパー
び必	必須条件	ク認定商品募集チラシおよび協議会ホームページをこ	ご参照くださ
		い。	
4	申請方法	筑波山地域ジオパーク推進協議会ホームページか	
		ら「筑波山地域ジオブランド認定申請書」をダウン	
		ロードし、内容を記入の上、お申込みすることがで	
		きます。	協議会HP
5	応募先	筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局	
		つくば市ジオパーク室 029-883-1111 (代)	
		石岡市商工観光課 0299-23-1111 (代)	
		笠間市観光課 0296-77-1101 (代)	
		土浦市商工観光課 029-826-1111 (代)	
		かすみがうら市観光課 029-897-1111 (代)	
		桜川市商工観光課 0296-55-1159	
	資料等	筑波山地域ジオパーク認定商品募集チラシ	

市長公室 危機管理課

事 案 名	シェイクアウト訓練2023の実施について
1 趣旨・目的	つくば市では、地震発生を想定して自分の命を守る行動をしていただくとともに、家具の転倒防止や食料等の備蓄などの防災対策を確認する機会とするため、「シェイクアウト訓練」を実施します。 平成27年度に初回開催し、今回で9回目です。 今年は関東大震災から100年という節目の年でもあります。ぜひ訓練への参加をお願いします。
2 日時	令和5年(2023年)9月1日(金)午前10時50分~(1分程度)
3 場所	学校・職場・自宅など
4 内容	①午前10:45 Lucky FM 茨城放送(FM88.1MHzまたはAM1458kHz)を選局 ②午前10:50 放送の合図で、自分の身を守る安全行動を開始 ③1分程度で各自訓練終了
5 対象者等	つくば市に在住、在勤、通学しているどなたでも参加できます。 ※前年度実績(令和4年9月1日)149団体 42,345名
6 主催等	主催:つくば市 協力:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議 (日本シェイクアウト提唱会議)
7 特記事項	参加者の人数を把握するため、参加者登録の御協力をお願いしています(リーフレットに記載のQRコードからオンライン登録)。
資料等	リーフレット